

番号	質疑	回答
1	<p>防災、渋滞、環境など、生活に身近な事例だったのでわかりやすかったです。</p> <p>実施することで、どの程度コスト削減ができるのか、今後は数字も交えてご説明いただくと、より具体的にイメージできると思いました。ご検討よろしく申し上げます。</p>	<p>ありがとうございます。引き続き、生活に身近な課題や、昨今のコロナ禍をきっかけとした社会の変化などを切り口に、自分の身に置き換えて分かりやすい説明をまいります。また、今後検討が進んだ際には、具体的な数字などを使った説明を心がけていきます。</p>
2	<p>オンデマンドモビリティ、について具体的な説明をもう少しお願いします</p>	<p>現在、鎌倉には交通不便地域と言われているところが2か所存在しています。</p> <p>この交通不便地域の解消を目指し、令和3年1月に、このうちの一つである二階堂・浄明寺地区において、オンデマンドモビリティの実証実験を行いました。</p> <p>通常、路線バスは、定時定路線で運行しますが、このオンデマンドモビリティは、利用者のニーズに応じて、迎えに行き、目的地まで送り届けるという形態のもので、スマートフォンのアプリ等を利用し、利用人数やルートを入力すると、AIが最も効率的に運行できるルートを導き出し、運行するというものです。</p> <p>近年、路線バスの路線を増やしていくことは非常に難しく、また、利用者の少ない路線は廃止されるなどの事例も少なくありません。このようなオンデマンドモビリティを使用し、極力費用をかけずに、効率的に人が移動できる環境を地域でつくっていくというものです。</p> <p>現在、交通不便地域は2地域ですが、高齢化の進行に伴う免許の返納など、移動困難な地域が増えつつあると認識しています。今回の実証実験の成果を踏まえ、他地域への展開も検討を進めていきたいと考えています。</p> <p>交通不便地域：市内のバスや電車の公共交通機関等のアクセスが悪い地域（平成11年に策定した鎌倉市オムニバスタウン計画では6地区を交通不便地域に位置づけました。）のことを指し、これまでミニバスの整備等でその解決に取り組んできましたが、道路が狭くミニバスの運行が困難であるなどの課題があり、解決に至っていない場所が現在2ヶ所（二階堂・浄明寺地区、大町地区）存在しています。</p> <p>▼参考「交通不便地域」 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/documents/omni-fuben.pdf</p>
3	<p>このプロジェクトのKPIは何か？</p>	<p>現時点では明確に定めていませんが、市民の幸福度（＝ウェルビーイング）を評価指標（市民の幸福度・満足度に関係するいくつかの要素）とし、それらを統計的に解析した結果を基に、スーパーシティ施策を常に改善していくサイクルの形成ができないか検討しています。この指標は個人の幸福度を数字で表すようなことは目的にしておらず、あくまで、スーパーシティ施策を常に改善するサイクルを形成することを目的にしています。</p> <p>なお、評価指標の設定については、世界のスマートシティで使われる先行事例を参考に検討しております。</p>
4	<p>開催趣旨にありました、スマートシティとスーパーシティの違い、について教えてください。</p> <p>これまでの経緯でスマートシティの取組を加速するものがスーパーシティとありました。目指す方向、取組内容はほぼ同じと考えてよいのでしょうか。</p>	<p>今までのスマートシティでは、交通と医療、観光と防災など複数分野にまたがるサービスを実現しようとすると、異なるサービス間でデータを共有・連携することや、複数分野で法規制を同時に突破することができないために、本来目指している包括的な市民サービスがなかなか実現しない、困難な状況が続いてきました。</p> <p>一方、スーパーシティでは、異なるサービス間のデータ連携を可能にする基盤環境を整えること、また複数分野の法規制改革を同時に強力に推し進めることで、市民生活を支える分野横断的なサービスの提供を、いち早く実現することを目指しています。</p> <p>データやテクノロジーの活用、デジタル化の推進は、今後、まちづくりを進める上で、必須のものとなってきます。本市のスーパーシティに向けた取組は、受動的にこれらを受け入れるのではなく、能動的に活用し、本市が目指すまちの実現を目指すもので、次世代にこのまちを引き継ぐための重要な取組となると考えています。</p> <p>スーパーシティ構想は国の事業になりますが、本市が目指すスマートシティの取組の方向性と一致するものです。スーパーシティの枠組を活用し、本市が目指す、「誰もが生涯にわたって、自分らしく安心して暮らせる共生社会」の構築の取組を充実・加速化させたいと考えています。</p>
5	<p>究極的にはICT等のインフラ整備と言って良いか？</p>	<p>スーパーシティ構想では、データ連携基盤の整備と先端的サービスをセットに検討を進めています。データ連携基盤については次世代のインフラ基盤になるとされており、スーパーシティに選定された際には、政府の支援を受けてデータ連携基盤を整備する予定です。</p> <p>ただし、その整備の目的は「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会」の実現であり、データ連携基盤の整備はその手段の一つです。</p>
6	<p>未回答の質問は、別途回答頂けるのでしょうか？</p>	<p>説明会の時間中に回答できなかった質問に対する回答は、市ホームページで公開します。</p> <p>▼市ホームページ「スーパーシティオンライン市民説明会を開催しました」 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/smartcity/super_online_setsumeikai.html</p>
7	<p>鎌倉市の課題や方向性については理解ができ、スーパーシティがなんであるかも何となく理解出来た。</p> <p>しかしながら具体的な施策について、何ら示されることなく、チャットでも同様の質問を入れたがスルーされた。</p> <p>次回もっと具体的に説明会が開示されるのだろうか？国の言う住民合意はこのレベルなんでしょうか？</p> <p>この後市のHPに掲載される質問と回答にキチンと記載されることを望みます。</p>	<p>説明会中にチャットで頂いた意見のすべてにお答えできず申し訳ありませんでした。ご質問は全て市ホームページで回答させていただきます。</p> <p>▼市ホームページ「スーパーシティオンライン市民説明会を開催しました」 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/smartcity/super_online_setsumeikai.html</p> <p>スーパーシティへの挑戦、データやテクノロジーの積極的な活用は、本市が目指す「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会（ともに生きる社会）」構築に向けた手段の一つですが、スーパーシティという名称、企業との連携やデータ・テクノロジーの積極的な活用に不安を感じる市民の方も少なくないと感じております。このため、今回の説明会では、市のスタンスを繰返し、丁寧に説明させていただくことに重点を置きました。また、現在、課題解決のためのそれぞれの事業の詳細を検討していることもあり、今回の説明会では大枠の説明とさせていただきます。</p> <p>今後、検討状況を含め、継続的な発信とともに市民の皆さまとの対話を重ねていきたいと考えています。</p>
8	<p>面白いコンセプトだと思いましたが、具体的な内容があまりよく分からなかった。</p> <p>また、市民とどんな面で協力し合えるのかも、いまいよく分からなかった。</p>	<p>スーパーシティへの挑戦、データやテクノロジーの積極的な活用は、本市が目指す「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会（ともに生きる社会）」構築に向けた手段の一つですが、スーパーシティという名称、企業との連携やデータ・テクノロジーの積極的な活用に不安を感じる市民の方も少なくないと感じております。このため、今回の説明会では、市のスタンスを繰返し、丁寧に説明させていただきました。</p> <p>また、現在、課題解決のためのそれぞれの事業の詳細を検討していることもあり、今回の説明会では大枠の説明とさせていただきます。</p> <p>今後、検討状況を含め、継続的な発信とともに市民の皆さまとの対話を重ねていきたいと考えています。さらに市民の皆様をはじめ、本市に思いを寄せる方々とともにまちづくりを進めていけるよう、現在アーバンデザインセンターのような組織づくりも検討しております。</p>
9	<p>1回目の方針などのご説明があり質疑も活発で良いと思いました。</p> <p>今後は採択されてからかもしれませんが、より具体的な内容に踏み込めれば良いのではないのでしょうか。</p>	<p>スーパーシティへの挑戦、データやテクノロジーの積極的な活用は、本市が目指す「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会（ともに生きる社会）」構築に向けた手段の一つですが、スーパーシティという名称、企業との連携やデータ・テクノロジーの積極的な活用に不安を感じる市民の方も少なくないと感じております。このため、今回の説明会では、市のスタンスを繰返し、丁寧に説明させていただきました。</p> <p>また、現在、課題解決のためのそれぞれの事業の詳細を検討していることもあり、今回の説明会では大枠の説明とさせていただきます。</p> <p>今後、検討状況を含め、継続的な発信とともに市民の皆さまとの対話を重ねていきたいと考えています。さらに市民の皆様をはじめ、本市に思いを寄せる方々とともにまちづくりを進めていけるよう、現在アーバンデザインセンターのような組織づくりも検討しております。</p>
10	<p>鎌倉らしさ云々という抽象的なことより、何がどのように変わり、どのように便利になるか等、端的な言葉で具体的に例示してもらいたい。</p> <p>行政主導の生活環境や社会システムの変更は、住民主体でなければ成功しないでしょうから、市民活動団体を推進母体として行政との二人三脚で進めた方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>既にコンサルなどが絡んで利権の臭いがしないでもなく、主人公は市民であることを徹底してもらいたい。</p>	<p>スーパーシティへの挑戦、データやテクノロジーの積極的な活用は、本市が目指す「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会（ともに生きる社会）」構築に向けた手段の一つですが、スーパーシティという名称、企業との連携やデータ・テクノロジーの積極的な活用に不安を感じる市民の方も少なくないと感じております。このため、今回の説明会では、市のスタンスを繰返し、丁寧に説明させていただきました。</p> <p>また、現在、課題解決のためのそれぞれの事業の詳細を検討していることもあり、今回の説明会では大枠の説明とさせていただきます。</p> <p>今後、検討状況を含め、継続的な発信とともに市民の皆さまとの対話を重ねていきたいと考えています。さらに市民の皆様をはじめ、本市に思いを寄せる方々とともにまちづくりを進めていけるよう、現在アーバンデザインセンターのような組織づくりも検討しております。</p>

11	<p>お疲れ様でした。</p> <p>スーパーシティとは何かという抽象的なお話より鎌倉市が考えるスーパーシティについてより具体的なお話が聞きたかった。</p> <p>例えば、国家戦略特区になると横断的に規制緩和ができるとご説明がありました。選定されると普通なら規制があつてできないことがスーパーシティになると実現できる、その具体的な例をあげて説明していただけるとよりわかりやすかったと思います。</p> <p>今日は参加させていただきありがとうございました。</p>	<p>これまでは個別の分野毎に課題解決に取り組んでいたことを、様々な分野間での連携を行い、最も効率的な手法を構築し、それを実行する上で支障となる要件（規制緩和）を一括して解決していただくというのがスーパーシティの仕組みです。（省庁間を跨ぐ調整は非常に困難ですが、それを可能とするのがスーパーシティです。）</p> <p>例えば、「渋滞解消」に取り組む際、単に交通量の制限をするだけでなく、交通渋滞に起因する様々な障害を洗い出すと、公共交通の定時性の確保、交通事故の防止、快適な歩行環境の確保、緊急自動車の到達時間の短縮と救える命を確実に救うなどがあげられます。</p> <p>これらを同時に解決することを検討し、その上で支障となる法制度（道路・交通関連法、医療関連法、個人情報保護法など）等を省庁間を調整し、一括して解決に結び付けようというものです。</p> <p>具体的に検討を進めているのは、交通渋滞対策としてロードプライシングをはじめとする交通需要マネジメント、オーバーツーリズム対策として年末年始の混雑状況の発信、災害対策として発災時の情報収集、避難誘導の実施などで、現在、これら課題解決に向けた事業の詳細の検討とともに、これらを進める上で支障となる法令等の洗い出し・整理を行っているところです。</p>
12	<p>規制改革する的な発言があったが、何を変えて何が起るのでしょうか？良い事ばかりで細かい説明がないのでは？</p>	<p>市内の慢性的な交通渋滞は、移動困難のみならず、救急車等、緊急車両の到着時間にも影響を及ぼしており、高齢化が進む本市においては、非常に深刻な課題となっています。</p>
13	<p>本日の内容はとても興味深く大変勉強になりました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>共生社会の実現スーパーシティは手段であるとのことでしたが、現時点で具体的に進んでいる計画などがあれば教えて下さい。</p> <p>また、国からの指定可否に関わらず、鎌倉市はスーパーシティを目指すということで認識してよろしいのでしょうか。個々の幸せを考えたスーパーシティ、色々な意見があると思いますが、私はとても素晴らしい取り組みだと思っています。これから市民と一緒に参加出来る事を願っています。</p>	<p>この課題解決に向けて、例えば、市内の主要幹線道路を走行する車を把握し、AIにより信号制御を行うことで、渋滞解消に取り組むほか、混雑時に中心市街地に進入する車に課金するロードプライシングを含む「交通需要マネジメント」の検討を進めています。</p> <p>また、緊急自動車の到達時間の短縮（適切な医療機関への搬送など）にあたっては、緊急自動車の到達から、搬送する病院とのマッチング、既往歴（これまでにかかったことのある病気）の情報共有などにより、早期の処置に繋がりたいと考えており、いつまでも住み慣れた場所で、安全に安心して暮らすことができるようデータ、テクノロジー、規制緩和等を活用していきたいと考えています。</p> <p>なお、現在、課題解決のためのそれぞれの事業の詳細を検討しているところで、今回の説明会では大枠の説明とさせていただきます。今後、検討状況を含め、継続的な発信に努めてまいります。引き続き皆さまと対話を重ねていきたいと考えています。</p>
14	<p>横断的な規制緩和とは具体的にどんなものですか？</p>	
15	<p>本日はありがとうございました。</p> <p>市民参加型の取り組みへという意志は、パルセロナの例などでよくわかり、共感いたしました。</p> <p>今回は、端緒となる機会なので今後具体化されるのだと思いますが、今後の具体的な取り組み案なども、もっと聞ければよかったですと思います。</p> <p>少子高齢化対策、税収増の取り組みにこのスーパーシティ構想がいかに関与し、現市民の享受できる便益や価値として、どのような夢が待っているのか？どのようにして作っていくのか？将来を担う若者層も巻き込んだ取り組みに発展するといいですね。</p>	<p>今後、市民の皆様をはじめ、本市に思いを寄せる方々とともにまちづくりを進めていけるよう、現在アーバンデザインセンターのような組織づくりも検討しております。是非、鎌倉の未来に思いを寄せる皆様と、新しいまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>ご意見のとおり、次世代のまちづくりを検討するにあたっては、将来を担う世代の参加は不可欠だと考えております。様々な年齢層の市民の方が参加しやすい市民対話の在り方を模索してまいります。</p>
16	<p>説明内容と自身の生活との関わりについて聞かれたが、スーパーシティ構想は、もうすでに詳細まで決まったものなのか、あるいは、これから市民とともに作っていくものなのか、よくわからなかった。もちろん、後者を希望します。</p>	<p>今回のスーパーシティの挑戦に向けて、国に提案を出すということになりますが、今回課題設定をしているものは、令和2年度からスタートして、これまで2年間ほど市民の皆様との対話を通じてつくってきた第4期基本計画のように、市民参加をしながら作ってきた自治体の各種計画の策定過程の中から浮き彫りになってきたものや、様々な市民の方々のこれまでの対話から浮き彫りになってきた課題を設定し、その解決方法について、企業から提案していただき、解決に向けて、まちづくりを進めていくというもので、基本的には市民の方々の意見を聞きながら作ってきたものの延長線上にあると考えています。</p> <p>オンライン市民説明会も含め、市民へのわかりやすい広報とコロナ禍に配慮した対話を丁寧に重ねることにより、市民理解の醸成に努めてまいります。</p> <p>さらに、今後、市民の皆様をはじめ、本市に思いを寄せる方々とともにまちづくりを進めていけるよう、現在アーバンデザインセンターのような組織づくりも検討しております。是非、鎌倉の未来に思いを寄せる皆様と、新しいまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
17	<p>海外の先進事例をしっかりと学んで計画を立てているところは、良いと思った。</p> <p>一方で、スマートシティの文脈を知らない人には、スーパーシティという言葉が、巨大な権威みたいなイメージを持たせてしまっているのを感じたので、一人一人に向き合って、それぞれの小さな問題に対してもテクノロジーが効果的にサポートしていくようなイメージをもった愛称をつけてもいいのかもしれないと思いました。</p> <p>住民主体という概念の実現に妥協せずに取り組めるかが、パルセロナを超えるスマートシティの実現のカギになると思いますので、今後に期待しております。</p>	<p>貴重なアイデアをいただき、ありがとうございます。スーパーシティへの挑戦、データやテクノロジーの積極的な利活用は、本市が目指す「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会（ともに生きる社会）」構築に向けた手段の一つですが、スーパーシティという名称、企業との連携やデータ・テクノロジーの積極的な活用による不安を感じる市民の方も少なくないと感じております。</p> <p>市民の皆様が身近な取り組みだと感じていただけるようご意見を参考にさせていただきながら、工夫を重ねていきたいと思っております。</p>
18	<p>スーパーシティ実現に際しては、独りよがりな個別最適ではなく全体最適を図るようにしてほしい。</p> <p>そのためには市民の理解協力のほか、一定のパワーが必要だと思います。どのようなパワーをどのように発揮していくのか、覚悟を持って取り組んでいただきたいし、市民としても協力していきたいと思う。</p> <p>このようなオンラインの説明会は、ロケーションの制約を外せるので活用して欲しい。さらに、説明会録画の公開することにより時間制約も外して、市民の理解や協力を得る促進策として欲しい。</p> <p>データ通信が今後、必要不可欠なインフラとなる以上、自治体としてデータ弱者対策を講じインフラとしての強化を期待したい。</p> <p>(昨年、デバイスやネット環境が未整備な市内小中学生に無償で貸し出したのは良かったと思う。モラルハザードも起きなかったし)</p>	<p>ご意見のとおり、スーパーシティの取組みは、市民の合意形成と市の強いリーダーシップが不可欠です。</p> <p>今後、データやテクノロジーの活用、デジタル化の推進は、まちづくりを進める上で、必須のものになると考えています。本市のスーパーシティに向けた取組は、受動的にこれを受け入れるのではなく、能動的にこれらを活用し、本市が目指す「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会（ともに生きる社会）」の実現を目指すもので、次世代にこのまちを引き継ぐために大変重要な取組だと考えています。急激な人口減少・少子高齢化の進行、気候変動・異常気象、災害激甚化、感染症の拡大など、厳しい時代を乗り越えるため、市役所一丸となって取り組んでいく決意です。</p> <p>今後、市民の皆様をはじめ、本市に思いを寄せる方々とともにまちづくりを進めていけるよう、現在アーバンデザインセンターのような組織づくりも検討しております。是非、鎌倉の未来に思いを寄せる皆様と、新しいまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>お時間やお仕事のご都合で、当日ご参加できない方に向けて、動画やホームページなどを活用しながら、より多くの市民の皆様がご参画いただけるよう今後も工夫をしてまいります。また、同時にデジタル社会の進展により、享受できるメリットに格差が生じないよう、いわゆるデジタルデバイドに対して丁寧に対応する必要があると考えています。</p>
19	<p>海外の事例なども挙げていただき、スマートシティ／スーパーシティが何かということがわかりやすくとめられていたと思います。</p> <p>ただ、鎌倉で具体的に何をやるのかということがほとんど出てこなかったのですが、それは逆に言う「市民として何が出来るのかよく考えておくように」ということだと思います。</p> <p>このようなスタンスは、けっこう好きです。市民として考えて、市民として参加できる場を積極的につくっていただければと思いますし、積極的に参加／協力させていただきたいと思っています。</p> <p>それとは別に、Zoomでの開催は大変だとは思いますが、もっと慣れが必要なのかもしれません。画面共有の解像度が低くて（360pぐらい？）見えにくかったのですが、画面共有は1080pまで解像度を上げられますので、このあたりに気を配っていただければと思います。</p>	<p>市政への参加・まちづくりへのコミットに関するコメント、ありがとうございます。</p> <p>現在、課題解決のためのそれぞれの事業の詳細を検討しているところで、今回の説明会では大枠の説明をさせていただきました。ご意見にありますように、市民の皆さまがまちづくりをジブンゴト化し、政策決定過程に参画いただけるのが理想だと考えております。引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>Zoomでのウェビナーの開催法についてのご意見もありがとうございます。不慣れなため、色々と不手際があり申し訳ありませんでした。いただいたご意見も参考に改善してまいります。</p>
20	<p>市民の多くが賛同しない場合もあるのでは？</p>	<p>今回の説明会も含め、市民へのわかりやすい広報とコロナ禍に配慮した対話を丁寧に重ねることにより、市民理解の醸成に努めてまいりたいと考えています。</p> <p>また、今後、スーパーシティに採択された場合は、事業実装に向けて、改めて、市民の合意形成を図る必要があり、これには十分な時間をかけていきたいと考えています。</p>

21	<p>今「あくまでも主役は市民の皆さん」と比留間氏はおっしゃいました。そこが担保されるには「産学官民」の推進組織の構成は市民中心にすべきでは？と思いますが、そうなるでしょうか？</p> <p>オプトインとは何ですか？</p>	<p>市民の皆さまの暮らしを豊かに、そして快適にするためには、様々な立場の人たちが対話を重ね、持てる力を結集し、新しい価値を「共」に「創」り上げていくことが必要で、「産学官民」の推進組織はその様な視点で設置するものです。ご意見のとおり、あくまでも主役は市民・生活者だと考えており、その意識を強く持って、組織設立・運営にあたっております。</p> <p>「オプトイン」は、データを提供する代わりに、自分に何らかのメリットが帰ってくるという制度設計が必要となるもので、例えば、自分の健康診断のデータを提供することで将来の疾病リスクや自分にあった体質改善プログラムの提供を受けることができるといったものなどです。</p> <p>情報の提供・開示には、「自分のこの情報を提供してもよい。」と同意できるもののみを、目的を限定して情報提供を行う「オプトイン」と、データをとることが前提で同意しない場合は申し出る「オプトアウト」の考え方があります。「オプトアウト」は、日本では受け入れられにくいものと考えており、鎌倉市がスーパーシティ・スマートシティに取組むにあたっては、「オプトイン」の考え方を中心に進めていくことを考えています。</p>
22	<p>行政主導、企業主導ではなく進めるとのことですが、今回のようなオンライン説明会を開催しただけで提案を出します。指定された後の協議会も市民主導とは思えないのですが、何を以て市民主導というのでしょうか。</p>	<p>今回のスーパーシティの挑戦に向けて、国に提案を出すということになりますが、今回課題設定をしているものは、令和2年度からスタートして、これまで2年間ほど市民参加等をして作ってきた第4期基本計画のように、市民参加をしながら作ってきた自治体の各種計画の策定過程の中から浮き彫りになってきたものや、様々な市民の方々とのこれまでの対話から浮き彫りになってきた課題を設定し、その解決方法について、企業から提案していただき、解決に向けて、まちづくりを進めていくというもので、基本的には市民の方々の意見を聞きながら作ってきたものの延長線上にあると考えています。</p> <p>当然ながら、これから具体的にどのようなことを実施するのか検討する段階では、地域ごと、課題ごとに、様々なご関心をお持ちの方々、色々な知見をお持ちの方がいらっしゃると思います。</p> <p>そのような方々とともに対話を重ねながら進めていきたいと考えており、これらの取組が、これからのまちづくりであり、共創というものになると考えておりますので、皆様のご協力をお願いしたいと考えています。</p>
23	<p>素晴らしいパネリストの方々で大変勉強になりました。鎌倉市の人脈の広さがわかり、すごいなと思いました。私自身も何が出来るかを考え、貢献していきたいと思えます。</p>	
24	<p>隈研吾さんの関わりによって、鎌倉の自然、伝統、文化を尊重しながら街づくりが行われるのかな、という期待感と、一方でスマートシティ・スーパーシティでよく言われるデジタル化・データ活用の話とが、今のところリンクしてこないところが、私の中では残念ではありますが、この取り組みに真剣に取り組まれようとしている関係者の皆様の姿を見て、とてもワクワクしました。皆様に敬意を表します。鎌倉ならではの、世界に誇れる取り組みになるよう、期待しております。私も鎌倉住人の一人として、協力させていただきたいと思えます。</p>	<p>市政への参加・まちづくりへのコミットに関するコメント、ありがとうございます。今後、市民の皆様をはじめ、本市に思いを寄せる方々とともにまちづくりを進めていけるよう、現在アーバンデザインセンターのような組織づくりも検討しております。是非、鎌倉の未来に思いを寄せる皆様と、新しいまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
25	<p>質問にていねいにご回答いただき、ありがとうございます。機会があれば、今後も積極的に参加して住みやすい鎌倉市にできれば、と思いました。</p>	
26	<p>市民参加の方策について、これからの具体的な取り組み計画などあれば、是非参加したいと思えますので紹介をいただければ幸いです。</p>	
27	<p>今日の講演において概念レベルの話は大変良く理解できるのですがそれに該当するような身近に直面している課題は多くあると考えますが、それらを市民から提案できるような方法もあればいいと考えますがいかがですか。</p>	
28	<p>データの管理について</p> <p>1.DWHや、アーキテクトはどのように構築していく予定なのか？</p> <p>2.データ活用・AIに関しての取り組みが多いが、企業に発注するのか、市役所でモデリングを行うのかどちらか？</p> <p>理由:こういったプロジェクトでそれぞれのモデルを外注するのであれば莫大な費用がかかるかと考えている。外注企業に依存し、ドメイン知識を含めた適切な活用方法ができないと考えるので、AIエンタープライズ系を市役所職員が利用しながら推進していく形の方が持続的な取り組みであると考えている。</p>	<p>国が示すリファレンスアーキテクチャなどを参考に本市にあった仕様のシステム構築を目指してまいります。</p> <p>これまで、共創計画部政策創造課において、データやテクノロジーの活用等について、検討を進めてきました。令和2年度からは、行政経営部・行政経営課に行政経営・DX担当・ICT基盤整備担当を設け、その取組を強化したところです。</p> <p>令和3年度は、機構改革により、共生共創部デジタル戦略課デジタル活用担当を設け、さらに、任期付き職員としてICTスキルを持った職員を採用し、体制を強化いたします。また、令和3年3月18日には横浜市立大学と包括連携協定を締結し、データをもとに政策決定のできる実践的人材を育成する体制づくりに取組んでいます。</p> <p>このようにデータモデリングについて理解を深めるような人材育成に努める一方で、適切に民間企業の力を借りながら、推進していきたいと考えています。</p>
29	<p>構想そのものは良いが、市の推進力に懸念があります。スーパーシティ構想で市民の協力、制約が必要と思えます。そのためには市の強力な推進力が必要と思えますが、(例えばゴミ処理施設の問題がいつまで経っても解決しないなど)、その力に疑問を持っています。推進力について、法的、(人的等)リソース的に、どのように担保、向上させていくのか、お考えを伺いたい。</p>	<p>ご意見のとおり、スーパーシティの取組は、市民の合意形成と市の強いリーダーシップが不可欠です。今後、データやテクノロジーの活用、デジタル化の推進は、まちづくりを進める上で、必須のものになると考えています。本市のスーパーシティに向けた取組は、受動的にこれを受け入れるのではなく、能動的にこれらを活用し、本市が目指す「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会(ともに生きる社会)」の実現を目指すもので、次世代にこのまちを引き継ぐために大変重要な取組だと考えています。</p> <p>急激な人口減少・少子高齢化の進行、気候変動・異常気象、災害激甚化、感染症の拡大など、厳しい時代を乗り越えるため、市役所一丸となって取組んでいく決意です。</p> <p>なお、市のみでは対応できない専門知識や技術を持った人材の確保については、外部人材の登用などにより担保していく予定です。</p>
30	<p>データマネジメントの部署などの設立予定はあるのか？</p>	
31	<p>南雲様のご発表にあったバルセロナ市のData Platformの取り組みは素晴らしいと思えます。これを鎌倉市で実現するために、例えばデジタル庁のような組織を市役所内に立ち上げる必要があるのでは？と感じましたが、現段階ではどのようにご検討されていますか？または全く想定されていませんか？</p>	<p>令和3年度は、機構改革により、共生共創部デジタル戦略課デジタル活用担当を設け、さらに、任期付き職員としてICTスキルを持った職員を採用し、体制を強化いたします。また、令和3年3月18日には横浜市立大学と包括連携協定を締結し、データをもとに政策決定のできる実践的人材を育成する体制づくりに取組んでいます。</p>
32	<p>環境変化に柔軟に対応出来る様、様々な検討をされている事は理解できました。鎌倉の良い部分は残しつつ、新しい街作りは賛成です。歴史ある土地柄、変化に戸惑う人も少なくないと思うので、今後もこの様に直接説明を聞く機会を作って頂ければと思います。</p>	<p>より多くの市民の皆様にご参画いただけるよう、オンライン、オフライン様々な手法を今後も模索していきたいと思えます。同時にデジタル社会の進展により、享受できるメリットに格差が生じないよう、いわゆるデジタルデバイドに対して丁寧に対応する必要がありますと考えています。</p>
33	<p>隈先生もおっしゃっていましたが、「鎌倉ならではの価値観」「鎌倉らしさ」を継承し、育てることに大賛成です。</p>	<p>「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会(ともに生きる社会)」そして、鎌倉らしさの継承の2点を大切にしながら、スーパーシティへの挑戦やスマートシティの取組を今後も進めてまいります。</p>
34	<p>「古いものを大切に、新しいことも知っていく」、松尾市長もおっしゃっていた「温故知新」の精神を継承し、育てるようなことができるといいと思えます。</p>	<p>テクノロジーを活用することについて、人と人のつながりが希薄になるといった心配もあるかと思いますが、テクノロジーはあくまでも手段であり、人と人の絆やつながりをつくるためにテクノロジーを活用していくということが非常に重要だと考えています。</p>

35	最近鎌倉市に越してきたので、鎌倉の価値観とか言われてもピンとこない。とにかくデジタル化して、利便性を向上して欲しい	スーパーシティは、社会課題をデータやテクノロジー、規制緩和により解決し、暮らしを豊かに、そして魅力的なまちを築いていこうというものです。本市は、これまでも行政手続きや市民サービスのデジタル化に取り組んできており、これをより一層加速・充実するために今回スーパーシティに挑戦することといたしました。 ご意見にありますように、市としても、これまで以上にデジタル化に注力したいと考えていますが、効率化を重視するあまり、鎌倉の個性など大切なものを失うことがないよう、充分配慮していきたいと考えています。
36	採択された場合の予算規模は？	データ連携基盤を導入する部分の費用は、国から予算が出ると聞いています。 それ以外の部分についても国が予算措置をしていますが、それをどう配分していくかはこれから検討されるものと認識しています（スーパーシティの選定は、5自治体程度といわれています。）。ただし、国からの支援は継続的なものではないことから、サービス等が自走できるよう収益化を考えていくことが必要で、スーパーシティの選定では、その部分も審査の対象になると聞いています。 行政のデジタルトランスフォーメーション等により圧縮したを支出を投資に回すなど、様々な手法を検討し、持続可能な仕組み構築に取り組んでいます。
37	鎌倉市がスマートシティとして選定されたら国からの補助の期間は？	スーパーシティに選定された場合、データ連携基盤の整備については、国から支援が受けられますが、ランニングコストについては自治体の負担になるため、国の補助のみに依存しない、持続可能性な仕組みづくりも必要になります。
38	国からの補助がある間に問題が解決できる見通しはあるのでしょうか	想定にはなりますが、国の各省庁のスマートシティ関連補助事業を最大限有効活用するとともに、中長期の視点として、持続可能なサービスを構築できるよう、民間企業の力を使ったマネタイズモデルを検討しながら、課題解決に向けた取組を進めていきます。
39	数字だけ記憶しているのでご説明いただけますか？ 先日、山田市議質問後、課長より「7億」と「3億」という説明があったのですが、何のお金でしょうか？	ご質問の内容は、国のスーパーシティに関する予算措置についての説明のことだと思います。 国のスーパーシティに関する予算措置は、令和2年度が7億円、令和3年度が3億円の予定となっており、先端的サービスの開発・構築やデータ連携基盤の整備、データ活用の推進等のほか、基本構想の策定等への活用が想定されています。
40	丁寧な説明でよくわかりました。進捗があったらまたやっていたらと幸いです。 一点、スーパーシティと関係ない質問に答える必要はあったのでしょうか。 こういったことで開催側の準備がさらに大変になったり、聞く側も会議時間が延びて次の機会での参加を躊躇したりといったことがあったら残念だと思われました。	より多くの質疑にお答えするために、説明会を延長させていただきましたが、時間内にまとめることができず申し訳ありませんでした。当日様々なご質問、ご意見に対応した趣旨としましては、スーパーシティとの直接的な関りは深くないとしても、今後のまちづくりを市民の方々と取り組むうえで、示唆的なご質問、ご意見をいただいたと考えたため、当日、いくつかご回答させていただきました。 お時間やお仕事のご都合で、当日ご参加できない方に向けて、動画やホームページなどを活用しながら、より多くの市民の皆様にご参画いただけるよう今後も工夫をまいりますので、どうぞよろしく願っています。
41	次なる説明会はディスタンス取れる大きな場を設け、普通の集会形式をお願いします！ (オンラインに参加しない、できないの方が圧倒的に多いし、あとで知らせるのはダメだと思うからです。)	説明会の開催時は緊急事態宣言下であり、集会することが感染拡大のリスクにつながるため、オンラインのみでの開催としました。 コロナウイルス感染拡大の改善が見られた段階で、感染リスクを極力抑え、サテライト会場を用意するなど、オンラインに接続できない方々もリアルタイムで参加できる環境整備を検討していきたいと考えます。 オンライン開催のメリット、感染リスクやオンラインに接続できない方々への配慮などバランスを取りながら、その時々最適な方法を模索していきたいと考えています。
42	なんとなく内容が理解できた。 ぜひホームページの方でも詳しく情報を載せて、随時更新してほしい。	当日、ご参加できなかった市民の皆様にもご覧いただけるようにYouTube市公式チャンネル及びホームページにて、当日の様子の動画を掲載いたしました。また、ホームページの更新も随時行ってまいります。 今後の説明会のご案内については、ホームページ、鎌倉市SNS公式アカウントや広報かまくらからお知らせします。本説明会にご参加いただいた方で、お申し込み時に「今後のお知らせを受け取る」を選択していただいた方には、メールでもお知らせいたします。
43	勉強になりました。ありがとうございました。 次回以降の説明会もご案内を頂戴できれば幸いです。	▼市ホームページ「鎌倉市スマートシティ特設サイト」 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/smartcity/index.html
44	この会見はオンラインで視聴できますか	スーパーシティオンライン市民説明会の当日の様子の動画を市ホームページ及びYouTube鎌倉市公式チャンネルにて、公開しています。 ▼市ホームページ「スーパーシティオンライン市民説明会を開催しました」 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/smartcity/super_online_setsumeikai.html
45	開始時間より遅れて参加するために、パスワードを取得する画面に入ったところ期限切れとのことで入れませんでした。 遅刻厳禁だったとは…。残念です。	お申込みいただいたのにも関わらず、ご参加いただくことができず、申し訳ございませんでした。本市ホームページ及び鎌倉市YouTube公式チャンネルにて、当日の様子の動画を掲載しておりますので、是非ご覧ください。 ▼市ホームページ「スーパーシティオンライン市民説明会を開催しました」 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/smartcity/super_online_setsumeikai.html
46	分かり易い説明ありがとうございました。	これまでも、市のホームページや広報かまくらをはじめ、鎌倉市公式SNSなど様々な媒体を活用して、市民の皆様にお伝えできるよう努めてきましたが、より早く、そして丁寧にお伝えできるよう、「伝える」から「伝える」広報となるよう工夫をまいります。 特に政策形成過程に市民の皆さまに参加していただくことが非常に重要と考えており、早い段階からの広報・広聴により一層注力いたします。引き続き、できる限り分かりやすい言葉で言い換えるなど、多くの方にご理解いただけるよう工夫をまいります。
47	カタカナ専門用語が多かったが、大まかなイメージはできた	
48	大学の講義のよう。視聴しているのは一般の市民。その視座でのpresentationを期待したい。	
49	これは意見です。 基本的に「カタカナ」を出来るだけ「日本語」に換えた方が良いと思います。 鎌倉には高齢者も多いので、ぜひお願いしたいと思います。	制度の名称、言い換えることでかえって難しくなる言葉を除き、できるだけわかりやすい言葉での説明を心がけていきたいと思っています。また、生活に身近な課題や、昨今のコロナ禍をきっかけとした社会の変化などを切り口に、自分の身に置き換えて分かりやすい説明など工夫を重ねてまいります。
50	深沢地区の住民として、新駅開発について興味を持っており、鎌倉駅、大船駅周辺の皆様とはかなり興味の対象が異なるような気がしました。 それゆえ、新駅開発について特化した説明会を別途アレンジ頂けると、とても有難いなと感じました。 勝手な言い分ですが、宜しくご検討願います。	スーパーシティの取組では全市域を対象に検討を進めてきているところであるため、今回はこのような説明会といたしました。 これから具体的にどのようなことを実施するのか検討する段階では、地域ごと、課題ごとに、様々なご関心をお持ちの方々、色々な知見をお持ちの方々がいらっやると思うので、そのような方々とともに対話を重ねながら進めていきたいと思っています。それが、これからのまちづくりであり、共創というものになると思っていますので、皆様のご協力をお願いしたいと思っています。

51	<p>共創計画部長のご発表について質問させていただきます。</p> <p>①行政手続きのIT化でコスト削減に触れられていましたが、それに伴う市役所のコンパクト化や、職員の削減については具体的にどのように計画されていますか？</p> <p>②街づくりについて大船、鎌倉、深沢地域がプレゼン資料に書かれていましたが、それ以外の腰越地域などはどうなっていますか？</p>	<p>これまでも行政改革によってコストの削減と、市役所のコンパクト化に努めてきました。これに取組むにあたって、市役所の執務スペースをコンパクトにしていくところや、例えば、災害時の受援力に対応できるような場所を確保することや、市民が集って色々議論をしていただくようなスペースなど、市役所でもっと求められる機能というものもあって考えており、そういった場所を増やしていくことも考えていきたいと思っています。</p> <p>説明資料の中で、腰越地域が入っていなかったということですが、説明不足であり、申し訳ありません。鎌倉市は、これまで大船駅周辺と、鎌倉駅周辺を2つの大きな拠点として都市整備を進めてきています。深沢地域は、これらに次ぐ3つ目の拠点として整備して、まちづくりを推進するという位置付けをしています。鎌倉、大船、深沢の3地域を説明の中で示しましたが、ほかの地域が別だということではなく、全市域的に地域性にあったまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
52	<p>現在の生活、生活における心配事がどのように変わるのかわからない。具体的にどの先進技術を使ってどんなサービスが追加されるのか。データ活用によりどんな便利なサービスがおこなわれるのか。具体化して欲しい。</p> <p>深沢地区の再開発については、そこでどんな市民サービスがおこなわれるのか。周辺の街をどのように変えようとしているのか。漸進投入の投資対効果がわかるようにしてほしい。</p>	<p>スーパーシティの指定によりテクノロジーやデータ、さらに規制緩和を効果的に活用することで、本市の抱える防災、観光・交通、超少子高齢化などの課題を包括的かつスピーディーに解決することができると考えています。特に、ロードプライシングは、これまで技術的・制度的な課題の抽出とともに、その解決策の検討を進めてきましたが、現時点では解決に至っておりません。このため、先進的な技術の提案、規制改革等が可能となるスーパーシティへ提案を行うことで、実現を目指していきたいと考えています。スーパーシティの提案にあたっては、これまでの検討で得た知見を活用し、実効性のあるものにしたいと考えています。</p> <p>またスーパーシティの提案は、鎌倉市全域を対象に行います。本市のスーパーシティは、鎌倉市全域を対象とし、既成市街地が現在抱える課題解決に取組み、ここで得たものを、深沢の新しいまちづくりに反映し、さらに、深沢で深めたものをさらに既成市街地に還元していくという「好循環」をつくりたいと考えています。</p> <p>深沢地区で実施する市民サービスの具体的な内容は、現時点では未定ですが、ソフトウェアやデータ等を駆使して実装可能な、市民生活を豊かにする先端的サービスの導入を検討していきたいと考えています。(なお、鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン基本方針においても、深沢の新しいまちでスマートシティの実証を行い、その成果を全市的にフィードバックすることで、市内全域の課題解決を加速させる役割を果たしていく考え方を示しています。)</p> <p>なお、深沢地区まちづくりに関する事業費についてですが、国庫補助金等によって賄われる分を除いた市の直接的な負担額としては、土地区画整理事業には約36億円、JR東海道本線の大船駅と藤沢駅間に設置する新駅には約4億円、新駅と深沢地区を結ぶ新しい橋の設置には約7億円と試算しています。一方、新駅設置を伴う深沢地域の新しいまちづくりによる税収効果については、不動産鑑定評価を踏まえた試算によれば、最終的な税収効果は年額約16億円にのぼると見込んでおり、深沢地区の新しいまちづくりは鎌倉市全域から見ても、持続可能な都市経営を支える未来に向けた先行投資として有益であると考えています。これらの事業費や税収効果等の検討につきましては、広報かまくらや市HPでも、情報発信をしておりますので、より詳細については以下のリンクをご参照ください。広報につきましては、皆様のご意見を参考にさせていただきながら、工夫を重ねていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p>
53	<p>スーパーシティのエントリーは「グリーンフィールド」としてエントリーしているようですが深沢地区が該当するようには思いますが他の地区も検討に入っているということでは間違いはないでしょうか？</p>	<p>▼市ホームページ「広報かまくら令和2年度3月15日号(深沢のまちづくりに関する事業費について)」 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kouhou/kamakura/20/210315.html</p> <p>▼市ホームページ「深沢地域周辺地区のまちづくり」 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyoten/fuka.html</p>
54	<p>ビデオの中で、AIがお年寄りの話し相手になるという案がありましたが、不十分だと思います。</p>	<p>説明時に引用した、平成30年にシニア世代を対象に実施した、AIスピーカーを活用した心身の健康維持や認知症予防、孤独感の解消をサポートする実証実験についてのご意見だと思えます。</p> <p>この実証実験は、AIスピーカー経由で音声アプリを提供し、会話・発声の機会を創出することで、心身の健康維持や認知症予防を目指すとともに、AIスピーカーが話し相手となることで孤独感の解消をサポートするというもので、「フレイル予防」と呼ばれる、健康な状態から介護などが必要な状態に移っていくことの予防に非常に効果が期待できるものですが、ご意見のとおり、まだまだできることがあると考えています。</p> <p>例えば、近くで開催されるイベントの案内をし、参加を促す、また、参加申し込みをするとオンデマンドモビリティの申込が同時にされ、当日、近くまで迎えに来てくれるなど、様々なことが考えられると思っています。今回の取組みを通じて、市民の皆さまや民間企業の方々等との対話を重ね、「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会(ともに生きる社会)」を構築していきたいと考えています。</p>
55	<p>温故知新の精神として、お年寄りを大切にす超高齢化社会への対応ができるといいと思います。</p>	<p>テクノロジーを活用することについて、人と人のつながりが希薄になるといった心配もあるかと思いますが、テクノロジーはあくまでも手段であり、人と人の絆やつながりをつくるためにテクノロジーを活用していくということが非常に重要だと考えています。</p>
56	<p>コロナ禍で給付金等がスムーズに届けられなかったことへの解決策としてデジタル化と説明がありましたが、ホームレスの人への給付はデジタル化では解決できないのではないのでしょうか。</p>	<p>テクノロジーですべての課題を解決できるとは考えておらず、人のつながりでしか解決できない課題に対して、より丁寧に対応していくために、テクノロジーを有効活用していきたいと考えております。テクノロジーはあくまでも手段であり、人と人の絆やつながりをつくるため活用していくということが非常に重要だと考えています。</p>
57	<p>AIが、今、話したいお年寄りとお年寄りをつなげるようなことができればいいと思いました</p>	<p>アイデアをお寄せいただき、ありがとうございます。</p> <p>テクノロジーですべての課題を解決できるとは考えておらず、人のつながりでしか解決できない課題に対して、より丁寧に対応していくために、テクノロジーを有効活用していきたいと考えております。テクノロジーはあくまでも手段であり、人と人の絆やつながりをつくるため活用していくということが非常に重要だと考えています。</p>
58	<p>スマートシティとスーパーシティの概念の違いが理解できた。 パルセロナの事例など、具体的な事例紹介があり、理解が進んだ。</p>	<p>これからも先進事例を研究するとともに、皆様にわかりやすくお伝えするよう工夫してまいります。</p>
59	<p>南雲様の海外事例のお話で、カナダは失敗例と仰ったように思うのですが、どのような失敗だったのでしょうか。</p>	<p>グーグルの協働会社サイドワークラボの事例で、トロントに、ゼロからデジタル都市をつくる計画をし、最先端でとても暮らしやすそうで、かつ環境配慮もされたものですが、問題が2つありました。</p> <p>1つは、街中のセンサーから出るデータはサイドワークラボ(グーグル)が取得することになっており、民間企業にデータを収集するという点に対して、後から問題になりました。もともと予定されていたことだったと思いますが、市民が知った段階で、個人データの取扱いに関する様々な問題が提起され、改めて対話が始まったが、時すでに遅しというところでした。</p>
60	<p>南雲氏への質問です。トロントはGAFのいずれかが参入だと知った市民の反対が大きくなって頓挫したそうですが、そこには「個人情報の流出の懸念」があったから、と受け止めましたが、正しいのでしょうか？</p> <p>デジタルインクルージョン、信頼性の重要性に鑑みて、つくば市などの「倫理規定」をどうお考えになりますか？あった方がいい？</p>	<p>もう1つは、もともとトロント周辺の人口が増加することもあり、地価が上昇することを前提に新たな街づくり、地価が上がることによって収益を得ることを想定していたが、コロナの影響で人口が増えず、地価上昇には時間がかかるということが判明し、収支が成り立たず頓挫したという経緯があります。</p> <p>個人データの取扱いについては、市民の皆さまとの合意に基づいて、しっかりと規定することが必要だと考えています。どのようなデータの扱いをすべきなのか、倫理規定については、鎌倉市固有のものが必要と考えています。</p>

61	<p>子供に対する政策を最重要にして、政策運営、財政運営をお願い致します。 人口が減るにも関わらず、国と地方の借金が増えていることに懸念しております。 是非よろしく願い申し上げます。</p>	<p>次世代のまちづくりを検討するにあたり、将来を担う世代の参加は不可欠だと考えております。様々な年齢層の市民の方が参加しやすい市民参加の在り方を模索してまいります。</p> <p>また、データ連携基盤を導入する部分については、国から予算が出るかと聞いていますが、国からの支援は継続的なものではなく、自治体がすべて負担していくことも現実的でないと考えているため、民間企業の力を使って、持続可能なマネタイズを組み立てていきたいと考えています。</p> <p>さらに、市の予算も限られているため、例えば、行政のデジタルトランスフォーメーションやデジタルの力を活用することで、抑えることができるコストがあり、そういったものに投資をしながら持続可能な社会、持続可能なまちをつくっていくことになると考えています。</p>
62	<p>質問にもありましたが、子育て関連のことが少ないと思いました。 選挙権が18歳以上の今、行政は高齢者側の取り組みに注力しがちな？と思います。子の数により、その保護者の投票には重きをおくようなことはできないのでしょうか？スーパーシティとは直接関係ありませんが、子育てにも具体策として、重点をおいてください。 ウェルビーイングは、大変興味ありますが、これも具体策がわかりません。 何のために、何をどうするということの感じでの、ご説明、ご提案をよろしく願いいたします。</p>	<p>次世代のまちづくりを検討するにあたり、将来を担う世代の参加は不可欠だと考えております。様々な年齢層の市民の方が参加しやすい市民参加の在り方を模索してまいります。</p> <p>鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年3月策定）に出生率の向上を掲げ、これまで妊娠・出産・子育て支援の施策充実に努めてきましたが、なかなか上昇に結び付いていないのが現状です。</p> <p>スーパーシティの取組みでは、子育てをしながら働ける・働きやすい環境づくり、子育てをしやすい社会づくりのために、テクノロジーや最先端の技術を活用していくことが視点が重要だと考えています。</p> <p>例えば、家事支援、子育て支援などに新しいサービスを導入することなどに、積極的に様々な取り組みをしていきたいと考えています。出生数等の数値目標については、鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定時アンケートにおいて、市民の皆様に「一生のうちどれくらい子どもを持ちたいか」という質問をしたところ、平均で1.74人（希望出生率）という結果が出ており、まずはこの数値を一つの目標として、妊娠・出産・子育て支援の施策充実に取り組んでいます。</p> <p>ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に幸福な状態を指します。現時点では明確に定めていませんが、市民の幸福度（＝ウェルビーイング）を評価指標（市民の幸福度・満足度に関係するいくつかの要素）とし、それらを統計的に解析した結果を基に、スーパーシティ施策を常に改善していくサイクルの形成ができないか検討しています。この指標は個人の幸福度を数字で表すようなことは目的にしておらず、あくまで、スーパーシティ施策を常に改善するサイクルを形成することを目的にしています。なお、評価指標の設定については、世界のスマートシティで使われる先行事例を参考に検討してまいります。</p>
63	<p>市民の幸福度well-beingに焦点を当ててその向上をはかり、スーパーシティの達成の尺度とする、ということのようですが、例えば、「あなたはこれまで買物に〇分要していたのが、△分になり、幸福度がこれだけ向上しました」などと言うのはおかしいのではないのでしょうか。 個人の内面や価値観にかかわる幸福度を持ち出してくるのは、新しい技術を使って規制緩和をおこない共生社会を実現するという、いささか無理な組み立てから来ていると思います。</p>	<p>個人の幸福度を数字で表すようなことは目的にしておらず、市民の幸福度形成するいくつかの要素を指標とし、市民の幸福度・満足度を統計的に解析した結果を基に、スーパーシティ施策を常に改善していくサイクルを形成することを目的にしています。なお、評価指標の設定については、世界のスマートシティで使われる先行事例を参考に検討してまいります。</p>
64	<p>本日はありがとうございます。教育行政について質問させていただきます。 少子高齢化が進んでいるにも関わらず、一向に小学校の統廃合が進まない理由はなぜでしょうか？ 1学年1クラスの学校が今後増えていくと思われませんが、どのように効率的に質を落とすことなく、学校運営ができるのでしょうか？ スーパーシティ構想なんてきれいいごとは、どうでもいいと思います。納得のいく回答を出してください。松尾市長。</p>	<p>小学校の統廃合については、その方向性を鎌倉市公共施設再編計画（平成27年3月策定）に定めていますが、現時点で、具体的に、どの学校をどのように統廃合していくのかといった詳細については、決定していません。現在、小中学校の老朽化の状況（平成29～30年度に校舎の劣化度調査を実施）、生徒・児童数の将来推計などを踏まえ、教育委員会とともに検討を進めているところです。</p> <p>小中学校の統廃合は、スピード感よりも、市民の皆さまの納得度が非常に重要であることから、丁寧なプロセスを踏み、きちんとご理解をいただいたうえで進めていきたいと考えています。</p> <p>一方、現在、少人数学級化が国全体として進められようとしています。学校の統廃合とは逆の方向で、よりクラスや学校の教室の数が必要になるということも想定され、このような環境の変化への対応も求められることになってきます。いずれにしても、子どもたち一人ひとりを大切に、一人ひとりにあった学びを提供していくことが重要であり、常にその様な視点で対応してまいります。</p> <p>我が国は、諸外国と比較するといわゆるデジタルに対応する教育が遅れをとっていると言われており、現在、GIGAスクール構想というものを、日本全体で進めています。鎌倉でも力を入れており、単にタブレットを配布するだけではなく、一人ひとりにあった教育をしっかりと行い、SDGsの理念にもある誰一人取り残すことのない社会を築き、そして、その人らしく、自分の生き方や学び方を実現していくということを可能にしたいと考えています。様々な最先端の技術、テクノロジーも活用して、昨年7月に就任した教育長を中心に、全力を挙げて取り組んでいるところです。皆さまのご協力をお願いいたします。</p>
65	<p>超高齢社会への対応について高齢者へのサービスは理解したが、出生数や子育てへの障壁への対策はどうなっているのか？ 出生数や子育ての部分をサポートしなければ、根本的解決になっていないのでこのスーパーシティでどのようにインパクトがあり定量目標はどうなっているのかご意見を伺いたい。</p>	<p>鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年3月策定）に出生率の向上を掲げ、これまで妊娠・出産・子育て支援の施策充実に努めてきましたが、なかなか上昇に結び付いていないのが現状です。</p> <p>スーパーシティの取組みでは、子育てをしながら働ける・働きやすい環境づくり、子育てをしやすい社会づくりのために、テクノロジーや最先端の技術を活用していくことが視点が重要だと考えています。</p> <p>例えば、家事支援、子育て支援などに新しいサービスを導入することなどに、積極的に様々な取り組みをしていきたいと考えています。出生数等の数値目標については、鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定時アンケートにおいて、市民の皆様に「一生のうちどれくらい子どもを持ちたいか」という質問をしたところ、平均で1.74人（希望出生率）という結果が出ており、まずはこの数値を一つの目標として、妊娠・出産・子育て支援の施策充実に取り組んでいます。</p>
66	<p>例えば少子高齢化の少子化にはどんなプラスがあるのだろう、と期待も持っていたが、そこに関しては見えないまま。 全体的にこうふくどをあげていけるのか、不明のまま。鎌倉が実験場にははしないか、不安もある。どうかもっとよく示して欲しい。</p>	<p>また、現在、課題解決のためのそれぞれの事業の詳細を検討しているところで、今回の説明会では大枠の説明をさせていただきます。今後、検討状況を含め、継続的な発信に努めてまいります。引き続き皆さまと対話を重ねていきたいと考えています。</p> <p>テクノロジーを活用することについて、人と人とのつながりが希薄になるといった心配もあるかと思いますが、テクノロジーはあくまでも手段であり、人と人との絆やつながりをつくるためにテクノロジーを活用していくということが非常に重要だと考えています。</p>
67	<p>面白い取り組みなので上手くいくと良いなあと感じました。 プライバシーの問題は市民のみでなく国民全般の理解を得ないとスーパーシティ構想の成功には繋がらないだろうなあと感じました。 ITの活用は欠かせないものと思いますが、業者任せでなく行政側もデジタル庁のような取り組みがないと効率化の実現は難しいのでは？と感じました。また次の説明会があれば参加したいです。</p>	<p>個人情報の取扱いについては、どの様なまちをつくるのか、そのためにどの様なデータ、テクノロジーを活用するのか、そして何を実現し、どんなメリットがあるかなどを丁寧に話し合いを重ねていくことが大切だと考えています。この様な視点にたつて、皆様の大切な情報が適切かつ安全に管理運用されるルールづくりをしっかりと進めてまいります。</p> <p>これまで、共創計画部政策創造課において、データやテクノロジーの活用等について、検討を進めてきました。令和2年度からは、行政経営部・行政経営課に行政経営・DX担当・ICT基盤整備担当を設け、その取組みを強化したところです。</p> <p>令和3年度は、機構改革により、共生共創部デジタル戦略課デジタル活用担当を設け、さらに、任期付き職員としてICTスキルを持った職員を採用し、体制を強化いたします。また、令和3年3月18日には横浜市立大学と包括連携協定を締結し、データをもとに政策決定のできる実践的人材を育成する体制づくりに取り組んでいます。</p>
68	<p>鎌倉市のオープンな姿勢は好感を持っていましたが、スーパーシティ関係者のジェンダーバランスが気になりました。 アーキテクトに女性を加えていただきたいです。</p>	<p>アーキテクトとは、国家戦略特別区域の指定基準における、地域課題の設定、事業計画の作成のほか先端技術の活用などスーパーシティ構想全体を企画する役割を担いますが、本市の場合は、アーキテクトのほかに専門家をアドバイザーとして位置づけ、アーキテクトとアドバイザーの意見を聞きながら構想をまとめていくことを予定しています。ご指摘のとおり、アーキテクトは男性のみとなっておりますが、アドバイザーには女性を選定し、構想策定メンバーのジェンダーバランスを確保するようにいたします。</p>

69	<p>仕方ないかもしれませんが、外部の方が仕切るのには抵抗があります。</p> <p>松尾市長の座右の銘？「温故知新」が2回も出てきたのには違和感を覚えました。</p> <p>個人情報の提供はあくまで個人の同意の上のことですが、「同意しないとこのサービスが受けられない」など、交換条件を持ち出されないう不安です。</p> <p>コロナ禍での給付金支給が迅速に行われなかったことの原因がデジタル化できていなかったこと、との説明がありました。ホームレスの方々への支給はデジタル化しても無理ですね。</p>	<p>このたび、スーパーシティ構想全体を企画するにあたり、地域課題の設定、事業計画の作成のほか先端的技術の活用など、まちづくりや民間企業がもつテクノロジーに対する知識のほか、市民的視野に立った説明能力など多方面に渡る知見が求められるため、今回3名のアーキテクトに協力をいただいています。</p> <p>温故知新については、「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会（ともに生きる社会）」そして、「鎌倉らしさの継承」の2点を大切にしながら、スーパーシティへの挑戦やスマートシティの取組を今後も進めていくことをお伝えするために使わせていただきました。</p> <p>情報の提供・開示には、「自分のこの情報を提供してもよい。」と合意できるもののみを、目的を限定して情報提供を行う「オプトイン」と、データをとることが前提で、同意しない場合は申し出る「オプトアウト」の考え方があります。</p> <p>「オプトアウト」は、日本では受け入れられにくいものと考えており、鎌倉市がスーパーシティ・スマートシティに取組むにあたっては、「オプトイン」の考え方を中心に進めていくことを考えています。「オプトイン」は、データを提供する代わりに、自分に何らかのメリットが帰ってくるという制度設計が必要となるもので、例えば、自分の健康診断のデータを提供することで、将来の疾病リスクや自分にあった体質改善プログラムの提供を受けることができるといったものなどです。</p> <p>情報の取扱いについては、どの様なまちをつくるのか、そのためにどの様なデータ、テクノロジーを活用するのか、そして何を實現し、どんなメリットがあるかなどを丁寧に話し合いを重ねていくことが大切だと考えています。この様な視点にたつて、皆様の大変な情報が適切かつ安全に管理運用されるルールづくりをしっかりと進めてまいります。</p> <p>テクノロジーを活用することについて、人と人のつながりが希薄になるといった心配もあるかと思いますが、テクノロジーはあくまでも手段であり、人と人の絆やつながりをつくるためにテクノロジーを活用していくということが非常に重要だと考えています。</p>
70	<p>スマートシティ・スーパーシティなどITを活用した都市計画を実現するにあたって、個人情報の開示が必要になると思うのですが、日本人は特に個人情報などパーソナルな部分の開示に非協力的だと思いますが、その点はどのようにしようと考えていますか？</p>	<p>情報の提供・開示には、「自分のこの情報を提供してもよい。」と合意できるもののみを、目的を限定して情報提供を行う「オプトイン」と、データをとることが前提で、同意しない場合は申し出る「オプトアウト」の考え方があります。</p> <p>「オプトアウト」は、日本では受け入れられにくいものと考えており、鎌倉市がスーパーシティ・スマートシティに取組むにあたっては、「オプトイン」の考え方を中心に進めていくことを考えています。</p> <p>「オプトイン」は、データを提供する代わりに、自分に何らかのメリットが帰ってくるという制度設計が必要となるもので、例えば、自分の健康診断のデータを提供することで将来の疾病リスクや自分にあった体質改善プログラムの提供を受けることができるといったものなどです。</p> <p>情報の取扱いについては、どの様なまちをつくるのか、そのためにどの様なデータ、テクノロジーを活用するのか、そして何が實現し、どんなメリットがあるかなどを丁寧に話し合いを重ねていくことが大切だと思っています。日本とは社会制度が違う国では、国の統治目的に個人データを全部使えるということもありますが、日本にはその様な考え方は合わないと考えています。</p> <p>他都市の事例を紹介すると、兵庫県加古川市では、高い犯罪発生率を改善するため、市民対話を重ね、防犯カメラを活用することについて、市民合意を得て実施しました。その結果、県でトップ3に入っていた犯罪件数が、県の平均値まで落ちたという事例があります。また、実際にカメラでデータを取っていないまでも、カメラがあること自体が抑制効果になったという副次的な波及効果が出てきているそうです。また、加古川市では、市民との対話を通じ、取得する画像に背景まで映り込んでしまうことを問題視し、一部黒塗りにするなどの配慮を行ったと聞いています。</p> <p>市民の皆さまと一緒に話し合いを重ね、どこまでやるのか、何をやるのかということを決めた上で、データの活用を行うというステップを踏むことが非常に重要だと考えています。</p>
71	<p>スーパーシティ型国家戦略特別区域に指定されなかった場合はどのようになるのでしょうか？</p>	<p>鎌倉市として、これまで進めてきたスマートシティの取組を加速させるため、スーパーシティという国の枠組の中で提案していこうとしています。スーパーシティに採択されるのは、5都市ほどであり、非常に狭き門であると考えています。</p>
72	<p>スーパーシティに採択されなかった場合の、その後の市の展望・構想は？</p>	<p>スーパーシティに採択されなかったとしても、スマートシティの取組については、鎌倉市として目指していく方向性のため、目指すべき大きな方向性は変えずに、着実に進んでいきたいと考えています。</p>
73	<p>災害事前予測ではどこからのデータを活用するのか？</p> <p>AI・データ活用で教師データは現状取得することができているのか？</p> <p>存在しないのであればどういった期間でどのように取得するプランがあるのか？</p>	<p>活用するデータの取得については、例えば、河川の氾濫に関する情報は、現在もカメラを河川につけて監視しており、ここからデータを取得するということが考えられます。</p> <p>ほかにも、土砂災害・がけ崩れ等に対しては斜面へのセンサー設置、地震予測では、人工衛星から地盤の動きを監視することが可能といった話しを聞いていますので、今後、事業者の方々へのヒアリングを進めながら、詳細な検討を進めていきます。</p> <p>発災時に、市民の方々がSNSに被害情報を発信することがありますが、この様な情報を集約し、全市的な被災状況を短時間に把握することや、市民の皆さんが避難する際に安全な経路をお知らせすることなどを検討しています。また、避難所の混雑状況のほか、避難所が混雑している、または、避難所までの経路が危険な場合など、避難所以外の場所を提案することなども発信できるよう検討しています。既に神奈川県が一部先行的に検討を進めているため、県と協力し、仕組みをつくっていきたくと考えています。</p>
74	<p>SDG'sも重要だが、Well-Beingの重要なエレメント、BCPの視点における南海東南海地震や津波対策の市の方針と具体策について伺いたい。</p>	<p>本市では、平成25年度に地震災害時業務継続計画を策定しており、地震災害による影響によって本庁舎機能が低下する場合であっても優先して実施すべき業務の継続と早期復旧を實現し、市民・事業者の生命・生活・財産を守り、都市機能を維持・復旧することを目標としています。</p> <p>また、計画の実効性を向上させるため、平成30年度に改定を行っているほか、相模湾を震源とする最大震度7の巨大地震と大津波発生などの被害想定に基づく図上訓練等を実施しているところです。</p>
75	<p>スーパーシティの主な取り組み内容として「災害対策」「超高齢社会への対応」「交通渋滞・観光の改善」「市役所業務改善」を挙げられておりましたが、優先順位をつけるのとするとどのようになりますでしょうか</p>	<p>これらの課題は、「市民の暮らしを守り、安心・安全なまちをつくる」とともに、「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会」を構築するために優先的に取組むべきものとして抽出したもので、この中で優先順位をつけるのは非常に困難です。</p> <p>最も優先すべきは市民の皆さまの生命・財産を守ることと考えておりますが、その視点からも「災害対策」だけではなく、「超高齢社会への対応」は健康寿命の延伸など、「交通渋滞・観光の改善」は緊急自動車の到着時間の短縮など、「市役所業務改善」はこれらに必要な財源確保など、非常に関連の強いものです。</p>
76	<p>総花的に取り組むより優先順位があるのでは？</p>	<p>このため、これら全ての課題解決を並行して取組んでいくことが必要と考えており、それぞれを所管する部署を中心に、全庁をあげて取組んでいきたいと考えています。</p>
77	<p>説明を聞いていると、市内におびただしい数のモニタリングカメラが設置されそうです。</p> <p>モニタリングカメラと言うのは監視カメラでもあるわけです。カメラの映像データはオプトインはあり得ません。</p> <p>中国の都市のように常に市民がカメラに撮られるまちなにならないでしょうか。</p>	<p>カメラについては、個人情報の取り扱いに配慮して、容姿などが映った映像を記録せずに、人をモデルとして認識させ、特定の情報（メタデータ）しか認識しないようなエッジAIというものがあります。そういった技術を活用して、混雑状況を把握するといった使い方を考えており、顔を記録したり、個人を識別するような使い方は想定していません。</p>

78	<p>方向性は理解できたが、カメラやセンサーなど常に見られる事になるのでは？ またこれらの費用は誰が負担する？イニシャルは補助があっても、運用費がバカ高くなり、財政が破綻するのでは？ 市のHPに連携事業者とあるが、これだけ沢山の事業者が入るとなると大混乱をきたすのでは？ 具体的な取り組みが何一つ記載がなくどういった理由で選定されたのか、理解ができない。説明として成立していないのでは？</p>	<p>カメラについては、個人情報の取り扱いに配慮して、容姿などが映った映像は記録せずに、人をモデルとして認識させ、特定の情報（メタデータ）しか認識しないようなエッジAIというものがあります。そういった技術を活用して、混雑状況を把握するといった使い方を考えており、顔を記録したり、個人を識別するような使い方は想定していません。</p> <p>個人情報の取扱いについては、どの様なまちをつくるのか、そのためにどの様なデータ、テクノロジーを活用するのか、そして何を実現し、どんなメリットがあるかなどを丁寧に話し合いを重ねていくことが大切だと考えています。この様な視点にたって、皆様の大切な情報が適切かつ安全に管理運用されるルールづくりをしっかりと進めてまいります。</p> <p>スーパーシティに選定された場合、データ連携基盤の整備については、国から支援が受けられますが、ランニングコストについては自治体の負担になるため、国の補助のみに依存しない、持続可能な仕組みづくりも必要になります。</p> <p>想定になりますが、国の各省庁のスマートシティ関連補助事業を最大限有効活用するとともに、中長期的視点として、持続可能なサービスを構築できるよう、民間企業の力を使ったマネタイズモデルを検討しながら、課題解決に向けた取組を進めていきたいと考えています。</p> <p>今回選定した連携事業者候補は、本市の課題の捉え方や個人情報の考え方、さらにこれまでに事業の実績など所定の書式を事業者から提出を受け、庁内の選定委員会にて選定したものです。</p> <p>今回選定した事業者は、本市のスーパーシティの考え方に共鳴し、課題解決に向けて一緒に取組むパートナーとして、国に提案する本市のスーパーシティの提案内容の作成にご協力をいただくことや、提案内容への具体的な事業の記載をすることを想定しています。</p> <p>なお、今回選定した連携事業者候補は、あくまで事業者の候補であり、仮に本市がスーパーシティに指定された場合には、改めて国がサービスを提供する事業者を選定することです。</p>
79	<p>今後の戦略特区の指定に伴うスケジュール、ロードマップをお教え顶きたい。</p>	<p>一次募集の締切は令和3年4月16日となっており、スーパーシティに採択された場合、国が検討組織を立ち上げ、1年程度の時間をかけ、省庁間の調整などのブラッシュアップを行い、提案の実装を目指してまいります。</p>
80	<p>1、参加前日ぐらいに、リマインドメールが必要。多数のメールに埋もれて、ZoomのID表示がなく、PWだけだったので、着信メールからZoomにエントリーが必要だった、その着信メールを探すのが大変だった。これは改善が必要。 2、資料のプリントが甘く、QRコードも読み取れなかった。いわゆるピンボケ状態が続いた。いつも他のZoom講習会、ミーティングをしているが、このようなことは初めてであった。 3、このアンケートもエントリーするのに手続きが多く、今回、ID、PWで入っているのに、又、初回と同じ質問、確認があるのは残念。とても事務効率が悪い印象が拭えない、もう少しITを上手く使って欲しい。 4、これらの他、鎌倉市の業務に於いて、未だに各種申請手続きで印鑑の押印を求めたりするのは、如何なものか？先ずこの辺り、ITの使い勝手を改善するのが必須と感じる。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。 ご指摘のとおり、オンラインウェビナーの運営について、至らない点が多くございましたこと、申し訳ございません。今後のオンライン説明会の実施の際には、より多くの市民の皆様がご参加しやすいよう、改善を重ねて参ります。</p> <p>押印廃止については、市民サービスのさらなる向上と行政事務の効率化を図るため、令和3年度から、可能なものについて、申請書等における押印を省略又は廃止する予定であり、現在規則改正等の手続きを行っているところであります。また、合わせて、行政手続のオンライン化につきましても、国の動向等を踏まえて、早期の導入に向けて検討を進めております。</p>
81	<p>今日の講演の復習のためにレジュメのダウンロード等は可能ですか。</p>	<p>説明資料の配布は行いませんので、恐れ入りますが、動画内で確認いただければ幸いです。</p>
82	<p>「縁むすびカード」は、市役所の方々が足でまわっていただいたおかげで、どのようなサービスよりも鎌倉の飲食・小売・サービス店をカバーしたと思います。 しかし、このまま3月15日で終了するのはもったいない。まずはこのカードをもっと活用されることは考えていないのですか？</p>	<p>継続的に使用できるように当初、議論を重ねましたが、ランニングコストが今後もかかってくること、国からのコロナ対策臨時交付金を使いながら実施していることを踏まえて、3月15日までという期限を設けることにしました。</p>
83	<p>縁むすびカードは、使える店舗を探すサイトのUIが悪すぎ</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。至らない点が多くあり、申し訳ございません。 縁むすびカードにつきましては、利用者アンケート調査を行い、課題や改善点の抽出を行い、今後の施策に活かせるよう研究を重ねてまいります。</p>
84	<p>つながる鎌倉条例との関わりは？</p>	<p>つながる鎌倉条例とスーパーシティは一体で取り組もうと考えています。 鎌倉市は、市民活動が非常に活発で、市民活動によって支えられてきたまちだと認識しており、つながる鎌倉条例を策定した今の時代を、市民活動「4.0」の時代だと捉えています。 市民活動がスタートした「1.0」と言われるのは鎌倉同人会によるまちづくりが行われてきた時代。「2.0」と言われるのが風致保存会等の活動。「3.0」としては公設民営のNPOセンターで市民活動がさらに活性化された時代、さらにそこから時を経てさまざまな活動が広がり、今その集大成として条例化がされたという風に考えています。 今までの市民活動の積み重ねと、今持っている皆様のノウハウをまちづくりにうまく活かしていきたいということで、共生条例というものも鎌倉市は作っていますが、こういう共生条例、つながるかまから条例、こういったものとも一体的にまちづくりをしっかりと進めていきたいと考えています。</p>
85	<p>住民生活の向上は最重要であるが、一方で市内でビジネスをする小規模事業者や個人事業者の競争力向上につながるような使い勝手も考慮されているのか？</p>	<p>本市が取組むスーパーシティは、「災害対策」「超高齢社会への対応」「交通渋滞・観光の改善」「市役所等の事務手続き、各種相談の改善」などを中心に進めていくことを説明させていただきました。 このうち「市役所等の事務手続き、各種相談の改善」は、市が進めるデジタル・トランスフォーメーション（以下「DX」）の一部です。DXは、デジタル技術を使ってまちの機能を充実させ、新たな価値を創造しようとするもので、本市ではキャッシュレスやMaaSなど、幅広い分野に取り組んでいくことを考えています。 この中で、小規模事業者や個人事業者の業務の効率化や環境改善に資する取組も進めるとともにキャッシュレスの推進やデータ活用などの基盤を整えることで、市内事業者の方々の作業環境や競争力の向上につなげていきたいと考えています。</p>
86	<p>鎌倉の今回のチャレンジ、歴史と未来を合わせた魅力創りは、今後の日本・世界の参考になっていくと思います。期待しています。</p>	<p>今後も継続的に市民の皆さまとの対話を重ねていきたいと考えています。引き続きよろしくお願いたします。</p>
87	<p>鎌倉市民ではありませんが在学中に参加した者です。 私の住んでいる市にはない取り組みや広報に興味深く拝見しました。 鎌倉市内はもちろんのこと、全国に向けて発信することで、人々の生活をよりよくすることにつながると感じました。 近隣の一住民としてスマートシティに期待しております。</p>	<p>説明会へのご参加ありがとうございます。鎌倉に関わる全ての方々が安全・安心で快適に過ごせるようなまちを目指していきたいと考えています。引き続きよろしくお願致します。</p>